

2019年度 第1回理事会議事録

日時 平成31年4月18日(木) 18:30~20:30
場所 一般社団法人 広島県臨床検査技師会 事務所
出席者 森田会長 飯伏副会長 米田副会長 三舛副会長、坂田事務局長
檜山事務局次長 尾田部長、浅野部長 中島部長 有谿部長 栗村理事
藤井理事 大塚理事 桑原理事 吉井理事 桑田理事 小松(忠)理事
柴田理事 中宮理事 箕岡理事 細谷理事 小松(浩)理事
枘本監事 水野監事
欠席者 難波部長
書記 小松(浩)

議 事

<報告事項>

【森田会長】

●日臨技より広臨技へ通知

昨年度と同様に生涯教育推進研修会を実施すると、1研修につき、20,000円+500円/人×60名で最大50,000円を限度として支給が決定されました。研修会の申請と終了の手続きが必要です。申し込みおよび申請をしてください。

●都道府県主催ニューリーダー育成講習会はこれまでに参加した4名を中心に実施したが、今年度にもう一度、日臨技主催で2泊の講習会(日時未定)を実施する。広臨技からは河野さんに参加していただきたいと考えている。(常務理事会においても提案・了承済み。)

昨年、講習会に参加された中宮理事より、同様のことが言われていたので、河野さんにはお願いしてあるとの追加発言あり。

●全国検査と健康展の開催の要望があった。

渉外法規部が中心となってその他の理事さんとともに開催する。

●日臨技精度管理結果サポート事業として、C・D評価の施設に対して助成を行い研修会を実施した場合、最大70,000円の支給があったが、一旦中止となりました。

2020年度を目標によりよいサポートのある事業の再構築し、決定し次第お知らせします。

●ベッドサイド実践講習会(旧他職種連携のための臨床検査技師育成講習会)開催のお願いとして、3年間の継続事業として都道府県で開催する。

検査相談説明ができる検査技師育成講習会の継承事業として位置づけられています。

開催費用として、定額200,000円+1,000円/1名の経費は日臨技が負担します。

受講者は3年間で会員数の1割を目指す。

実行委員を選出し、開催していただきたい。

一昨年参加した広島総合病院の霜津技師、担当理事は三舛副会長を中心として実施いただくことが常務理事会で決定されました。

●初級職能開発講習会の開催のお願い

1回行ったのみで実施していないので、組織調査部が担当で、今年度は実施していただきたい。定額50,000円+1,000円/1名の経費

●総会の委任状回収委託事業

議決権や出席者を回収し、回収率が66.7%以上の場合、100円/1名あたりが日臨技からお

りてきますので、総会の委任状の回収を理事が行ってください。

- 中四国支部学会のシンポジストとシンポジウムの座長が決定された。
広島県からは座長が4名、シンポジスト1名です。
- 5月開催の日本医学検査学会において参加者登録用のバーコードリーダーが不足しており、広島県から1台貸出の要請があり、4月26日までに着払いで送付の手続きを行った。

【坂田事務局長】

- 4/9に委嘱状を2名に発送した。
広島赤十字・原爆病院 永崎裕志さんに病理部門長、
福山医師会健康検査センター 和田栄津子さんに生涯教育委員の委嘱状を送付。
任期：平成31年4月1日～令和2年6月30日
- 4月9日賛助会員77社と県会員5名に対し、平成31年度会員継続依頼を送付した。
- 平成30年度医療技術者研修事業補助金(100,000円)を受けるために、この後、理事会承認していただく事業報告等を広島県へ送付し、受ける予定です。
本来は総会承認が必要な懸案ですが、期日締め切りが迫っており、理事会承認により提出します。
- 総会のスケジュール
日時：6月15日(土) ホテルサンルート広島において開催
13:00～14:00理事会(広臨技事務所)
表彰式16:00～16:30 総会16:30～17:30
表彰祝賀会18:00～ 祝賀会会場ホテルサンルート内 15F ヴィアール
会費6,000円(4,000円の自己負担+2,000円の行動費)

【尾田学術部長から報告】

- R-CPCに関して、今後、話し合いを行い、どのような症例をテーマとするか決定する予定です

【浅野経理部長】

- 日臨技より助成金の振り込みがありました。
3/26に平成31年度会費収入として会員数1704名×7,000円で、11,928,000円
生理検査部門と臨床一般部との合同研修会：50,000円
東部地区生理検査部門研修会：47,000円
- 文献検索のメディカルオンライン使用料として711円の収入の予定(5/31)があります。

【中島渉外法規部長】

- 5/12 ピンクリボン de Carp (マツダスタジアム)
4/15に実行委員会会議に大塚理事および中島常務理事が参加した。骨密度測定を実施する。ボランティア6名必要だが、1名不足しているため、理事および常務理事で参加いただきたい。
- がん検診へ行こうよ 推進会議が本日開かれ、中島常務理事が参加した。

広島県のがん検診受診率は全国平均を下回っており 40%前後であるとの報告があった。目標受診率 50%したいとの発言がありました。

9/1 にデーモン閣下が来る “がん検診へ行こうよ in マツダスタジアム 2019” スポンサー主催の試合なので外野でのパフォーマンスもないと思われます。

● HIV 日曜検査の契約書を交わした。委託料：検査事業は 646,000 円、相談事業は 1,935,000 円です。

現段階では、技師会会員 5 名で、事業を行っている。

【組織調査部から報告】

● なし

【有谿広報部長】

● 速報4月号を3月末に新しいWEBサイトに掲載し、メーリングリストにて送信した。

速報5月号は4月11日に締め切り、理事会の議事録、定期総会の案内、3月実施の臨床検査精度管理向上および検査部長・技師長会の報告を掲載する予定。

● 3/12に平成30年度広報部会を開催し、2019年度の広報の役割分担、8月発行の会報の特集について討議した。

2018年夏の西日本豪雨災害での技師会が活動したDVD検診や病院被害状況などをまとめるため、座談会形式で、水野支部長、森田会長、飯伏副会長、浅野常務理事が出席していただく。

● 医療法改正についても、掲載する予定。

● 2019年度に、定款規則等が大きく変更されたので、全文を掲載します。

<地区報告>

【広島地区・西部地区：小松】

● 4/24広臨技 広島・西部地区レクリエーション (Carp観戦)
申込人数 会員86名、賛助会員 (会員家族) 60名 計146名

【呉地区：柴田】

● 事業報告

開催日	事業名	参加人数
2019/02/28	平成 30 年度第 6 回呉地区研修会	27 名
2019/03/12	平成 30 年度第 3 回呉地区微生物研修会	10 名

● 事業計画

開催日	事業名
2019/04/18	2019 年度第 1 回呉地区研修会
2019/04/25	2019 年度第 1 回呉地区輸血談話会
2019/05/11	呉地区レクリエーション [カープ野球観戦]
2019/05/15	2019 年度第 1 回呉地区細胞診研修会
2019/05/25	呉地区栄養サポート研修会

2019/05/27	2019年度第2回呉地区研修会
2019/05/31	2019年度第1回呉地区血液研修会
2019/06/13	2019年度第1回呉地区生理検査研修会
2019/06/13	2019年度第1回呉地区微生物研修会

*5/11呉地区レクリエーション〔カープ野球観戦〕に関して 呉地区会員36名 賛助会員8名で50名に達せず、呉地区外会員に声かけし50名に達しました。

*5/25呉地区栄養サポート研修会は、広臨技への共催願いを持参した。

【東部地区：桑田】

● 事業報告

開催日	事業名	参加人数
2019/03/16	東部地区生理研修会 (2018年度日臨技精度管理報告会)	27名

● 活動報告

2019/03/27	東部地区学術部門長会議 (H31年度研修会について)
------------	----------------------------

● 事業計画

開催予定日	事業名
2019/06/27	第1回生涯教育講座 (東部地区)

【東広島地区：小松（忠）】

● 活動報告

県学会報告

【北部地区：箕岡】

● 事業計画

開催予定日	事業名
2019/6/22	北部地区研修会
2019/9/未定	北部地区研修会
2019/12/未定	北部地区研修会
2019/12/未定	北部地区意見交換会

<討議事項>

【会長】

● 細則の中に各部局等の記載があり、その中に部員の任期に記述あり。

任期は2年とする。部員は再任されることができる。ただし、再任は通算3期までとする。となっている。見落としていたため、浅野経理部長が4期目に入っていた。

対応のため、必要に応じて理事会の承認で再任できると改定させていただきたい。

特に経理部に関して経理副部長も現在3期目であり、来年度以降、経理部長・副部長が退

くと、技師会運営に多大な支障をきたすことが予想されるため、理事会の承認により4期目以降も再任可能という形に変更したい。

→異議なく、承認された。

浅野経理部長の再任に関しても、異議なく承認された。

【事務局】

- 討議事項なし

【学術部】

- 学術誌の編集委員の追加をお願いしていた。

編集委員10名と細則に記述があるが、副会長・委員長・副委員長も含めた10名であると勘違いしていた。そのため、副会長・委員長・副委員長の3名の空きがあり、次回の理事会までには3名の選出を行いたい。

【経理部】

- 通帳の運用方法。

CPC研修会の開催との要望あり。平成31年度予算申請（30万円）を受けているが、現金でもらっても困るということで、運用するための通帳がほしいとのこと。

前事業積立金として使用していた郵便局の通帳・キャッシュカードがあるので、それを使っていたきたいが承認いただきたい。

CPC研修会に関して、質問あり

（水野監事）CPCを動かす担当はどこなのか、遺伝子部門がやるのか、別に担当部門を立ち上げるのか？

（尾田学術部門長）学術部門内に小委員会がある。ワーキンググループを立ち上げた主旨を以前の理事会（1月）で報告した。

（森田会長）小委員会だと、細則に記述がないので、学術部門内のワーキンググループという形であれば、理事会承認で可能と考える。

（三舛副会長）会長が必要と認めれば設置が可能という文言あり、学術部門が必要であればという文言なし。

（水野監事）学術部からの答申で会長が必要と認め（常務理事会）、理事会で承認するという手順を踏んでください。会計に関しても、CPC研修会を実施する会計責任者の指導をお願いします。

【渉外法規部】

- 全国「検査と健康展」を11月に開催する。

準備するにあたっては渉外法規部および三舛副会長が行うが、広島・西部地区理事も含め準備等からお願いしたい。

- 表彰審査委員会から答申書を出した。

表彰者：学術業績者表彰2名 渡辺技師 および 長谷川技師

学術奨励賞と功労者は該当なし

永年職務精励者：32名

特別表彰：金本技師と竹本技師

【組織調査部】

- 討議事項なし

【広報部】

- 総会の資料配布予定

4/23までに決算・総会の資料を合わせて広臨技役員でチェックを行う。

4/24可部印刷依頼，5/10事務所から委任状等が入った総会の資料を会員へ送付する。
委任状締め切り5/28ですので，理事は各施設や担当地区の委任状を回収し，難波組織調査部長へ提出してください。

【広島地区】

- 討議事項なし

【呉地区】

- 呉地区委員からのお願いで，広臨技のメーリングリストが1週間前での配信となっておるため，1週間前では遅く，参加したいが予定が付けられないことがあるため，1か月前の配信に変更してほしい。

→新しいWEBサイトにおいて，メーリングリストがなくなる可能性もある。また，行事カレンダーはWEBサイトにあるので，そちらを各施設で印刷などして利用していただきたい。

浅野経理部長：ホームページ作成会社に完成前ではあるが，頭金の20万円を振り込んだ。残金を未払いのまま31年度になった。完成前ではあるが未払い分の支払いをしてもよいか。

→異議なく承認された。

【東部地区】

- 討議事項なし

【東広島地区】

- 討議事項なし

【北部地区】

- 討議事項なし

【県学会報告】

学会参加人数

会員	164名
賛助会員	22名
学生	5名
一般市民	30名
合計	221名

決算報告

収入の部

項目	金額	備考
広臨技助成金	1,500,000	
展示	75,000	10,000円×4社 30,000円×1社 5,000円×1社
広告	290,000	30,000円×7社 20,000円×4社
ランチョンセミナー	200,000	1,000円×100食×2社
貯金利子	4	
雑収入	2,000	抄録 2冊
合計	2,067,004	

支出の部

項目	金額	備考
会場費	373,000	グランラッセ東広島 2日分
設備費	178,000	スクリーン運搬費 10,000×2、スクリーン 24,000×3、レンタルテーブル 60枚 86,000
講師謝金・交通費	165,940	講師 5名分
ランチョンセミナー	200,000	1,000円×100食×2社
印刷製本費	554,040	抄録 1950冊・ポスター A2・80枚、チラシ A4・2000枚(追加 A4・1500枚)
会議費	14,780	計 8回会議費
運営費	253,656	実務委員活動費、弁当代、茶菓子、交通費
雑費	44,637	
合計	1,784,053	

収支差額

282,951

懇親会参加人数

会員	58名
賛助会員	29名
合計	87名

懇親会収入

項目	金額
懇親会費	435,000

懇親会支出

項目	金額
懇親会請求額	433,565
懇親会準備品	
謝礼	
合計	433,565

懇親会準備品、謝礼は学会支出雑費の一部で計上

懇親会収支差額

1,435

学会終了5日後に反省会を行った。下記の意見がだされたので報告する。

<全体的に>

学会に『集まれ広臨技』を組み込む必要があるか。

学会を1日に短縮できるか？（一般演題を聞いてからほとんどランチョンも残らず、ほとんどが朝だけを聞いて帰る会員が多かった）

5年に1回は東広島地区の事情的にはかなり厳しい。

<学会案内>

広臨技ウェブサイト上で広島県医学検査学会のリンクをクリックしても、前回の呉地区の案内ページに飛び、今回の学会に関するページが見つからなかった。

抄録に無料バスの案内をウェブサイトに載せると記載したが、実際は速報2月号のみの掲載だけになってしまい、会員に周知出来なかった。

⇒ 学会を準備する側として、システム委員会にウェブサイトの修正を働き掛ける必要があったのか？ そもそも学会運営側がホームページを更新しないといけなかったのか？

⇒ 学会の案内は紙ベースで出すべきなのか？

★（飯伏副会長）

これまでの県学会のホームページは前担当者が独自で作成されていたにすぎないため、今後はやめたいということで、新しいリンク先を貼らず、そのままだったために今年の学会ページの閲覧であった。

★三舛副会長

次回からは、新しいWEBサイトの中に学会というボタンを作成し、県学会、中四国支部

学会，全国学会などへリンクされるようにする．ただし，県学会は広臨技 WEB 上に固定ページを作成・管理しなければならない．今回は，開発者の事情により間に合わなかった．申し訳ありません．

<会場、部屋の運用>

両会場とも大きさに問題はなかった。

座れなかったらと思って準備した後ろの椅子が、前に座らない状態でも座られていた。アンケートにもあったが机の席がいっぱいになったタイミングで出した方がよかった。

喫煙スペースがあるので仕方ないが、1階の喫煙室からおいがフロア全体に流れていた。部屋の案内を掲示した方が良かったのでは（間違えて別に部屋へ行く人もいたのだ）。

<展示>

スペースを広く準備でき、良かったと思う。

<シンポジウム>

職域をまたいだ豪雨災害への対応を聞く事が出来よかった。開始時間が遅れてしまい、最終的に終了も押ししてしまったため、質疑・討議が多く行われなかったのが少し残念ではあった。

<懇親会>

余興も盛り上がり良かった。

メーカーに懇親会の案内を出すのが遅れ心配していたが、最終的には多くのメーカーに参加頂いた。

<一般演題>

進行としてはスムーズに行えた。ただ、質疑応答が活発でなかった。

<ランチョンセミナー>

両会場とも参加が少なく弁当がたくさんあまった。メーカーにお金を出してもらっており、とても申し訳なく思った。

⇒ 呉地区開催時においても 200 準備したがたくさんあまったと聞いた。

会員全員にいきわたらないと思って合計 200 としたが、全体的に数を減らさないと今後メーカーが引き受けてくれないのではと感じた。

1 日目と 2 日目の弁当の内容が同じであった。

★柴田理事

呉地区では、200 準備したが、余りは 20 くらいだった。前回の参加数をもとに、弁当の数を決定した。

★小松(忠)理事

今回も、5 年前の前回は参考になり 200 に決定したのであるが、前回の開催場所が広島国際大学であり、その時は参加人数がもう少し多かった。一般演題発表までは、それなりの人数がいたが、それを終え、ランチョンセミナーと市民公開講座の段階で、会員が少なくなっていた。

学会を例年通りの 2 日間実施ということが 1 つの原因ではないのか。

★森田会長

今までの慣習から 2 日間の実施となっている。学会とは別で、1 日を『集まれ広臨技』にすることで、生涯教育の基礎点を取れる形にしていた（受付 2 回実施）。

また、学会にはいろいろな方が参加され、執行部からのお話ができる、広臨技や日臨技が考えていることやお知らせができる機会を設けたいという考えから2日間実施の意図もある。

ランチョンセミナーから参加者が帰るのは非常に残念である。

今後、学会運営に関して、検討する余地がある。開催する地区ごとの特徴をもって開催するのも良いと思うので、今回の反省も生かし、次回学会においても検討いただきたい。

<市民公開講座Ⅰ>

とてもわかりやすかった。

<市民公開講座Ⅱ>

藤原先生に依頼する時に60分をお願いしていたが、先生が勘違いされていて90分で作成されていたようだ。最初に90分のキーワードがあったタイミングで先生に60分をお願いする旨をお願いすればよかった。

内容はとても面白かった。

<その他>

ネームプレートの回収率が悪かった。

市民への宣伝が弱かった（およそ20～30人）。テーマや講演内容は良かったと思うので、お金をかけてでも宣伝が必要と感じた。

<PC担当>

PCが新しくなり、DVDドライブが非搭載となった。広臨技のPCだけを使用するのであれば、今後CD提出は難しいか？

★浅野経理部長より補足発言

理事の駐車場代も含めた宿泊費の前払い要望があったために支払ったが、駐車が出来なくなった為、駐車場代金を返金いただくことになり、余分な手数料が発生。次回からは、後払いでお願いしたい。

講師の先生から領収書の受け取り忘れがあり、必ず受け取ってほしい。

【経理部】浅野経理部長

平成30年度決算に関して下記①～⑧を提示し詳細に報告があった。①正味財産増減計算書 ②正味財産増減計算書内訳表 ③貸借対照表 ④財産目録 ⑤財務諸表に対する注記 ⑥収支計算書（前期比較）⑦収支計算書 ⑧収支計算書の注記 :①～⑧資料は別添付ファイル参照

*印刷物の支出は減ったが、ウェブサイト変更のための支出が増えた。

*技師会管理のPC10台の更新に消耗什器備品費（約180万円）が増えた。

*速報や会報は印刷製本費に含まれている。

*支払い助成金の増減は、活動費の支払い区分けされたため

*広島県からのAIDS受託金が大きかった。

（水野監事）

旅費交通費に関して、研修会などの地区の場合と、理事会などの場合で振り分けが曖

昧であり、その点に関して質問があった。

(浅野経理部長・森田会長)

正味財産増減計算書 (2) 経常費用 ①事業費または②管理費の項目の旅費交通費として決算とする。

(枘本監事)

指摘事項：担当部局長などの印が必要な箇所には印はあるが、必要ない場合が空欄になっており、斜線を引くこと。

コンビニの領収書や新幹線チケットの領収書には必ずサインをすること。

(水野監事)

全体として、しっかりできており、会計上処理の指摘はございません。

会の運用として、地区も含めた学術部門の運用が曖昧であり、広臨技には研修会企画運営細則、日臨技には生涯教育研修制度ガイドラインがあるので、地区理事や部門長は熟読した上で運営していただきたい。

広報取材に関して、支部学会や全国学会の報告に関して、個人の学会印象の報告になっていると思われる。

広臨技として勧めていく方向性、法改正などのトピックスなどを伝えるための広報の学会視察・報告という内容の方が良いのではないかと、技師会広報誌としてさらに良くなると思われる。

(森田会長)

会員みなさんのお金で運営されていますので、きっちりとした形で使っていただきたい。

生涯教育の方で、お金が余っており(約30万円)、会費を下げたり、受講者に還元することなどを含め、生涯教育担当の飯伏副会長に考えていただきたい。

→以上により、決算報告に関して承認された。

(浅野経理部長)

決算処理等で、事務局の細川さんにとっても頑張ってもらって非常に感謝しているが、時給アップなどしても限度額などの問題もあり給与等での還元はできないため、5万円の旅行券を進呈したいので承認いただきたい。

→承認された。

【その他の報告事項】

(桑原理事)

●生涯教育委員会：4月から今年度の生涯教育講座の申し込みを開始した。

●2/13(水)に広島県結核予防推進会議に出席した。広島県の結核の現状や結核予防推進プランの進捗状況、目標達成に向けた取り組み状況について協議した。